

別表１：評価項目及び評価基準

工 事 名：大牟田市公共下水道事業 白川排水区雨水管渠整備（R8-1工区）工事

区 分		評 価 項 目	評 価 基 準		構成員ごとの点数の算出方法	配点
					該当する点数×出資比率	
企業 の 技 術 力 9 点	① 施工実績の状況	令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の同種工事の施工実績：注１	５件以上の工事の実績あり		3.0	3.0
			３件又は４件の工事の実績あり		2.0	
			１件又は２件の工事の実績あり		1.0	
			実績なし		0.0	
	② 工事成績評定の状況	令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の本市の工事成績評定点の平均点（本市の工事成績評定点の対象工事がない場合にあつては、令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の国又は他の地方公共団体が発注した工事の実績の有無）：注２	本市の工事成績評定点の対象工事ありの場合	７０点以上	3.0	3.0
				６５点以上７０点未満	2.0	
				６０点以上６５点未満	1.0	
				６０点未満	0.0	
			本市の工事成績評定点の対象工事なしの場合	国又は他の地方公共団体の発注工事の実績あり	1.0	
				国又は他の地方公共団体の発注工事の実績なし	0.0	
	③ 技術者保有状況に基づく信頼度	開札日現在において１０年以上継続して雇用する１級土木施工管理技士又は１級建設機械施工管理技士の資格を有する者（それぞれの資格を継続して１０年以上有する者に限る。）の人数：注３	３人以上		2.0	2.0
			１人又は２人		1.0	
			０人		0.0	
	④ 品質管理・環境マネジメントシステムの取組状況	ＩＳＯ９００１又はＩＳＯ１４００１の認証の取得：注４	両方とも取得している		1.0	1.0
			どちらか片方を取得している		0.5	
			両方とも取得していない		0.0	
配置 予 定 技 術 者 の 技 術 力 8 点	⑤ 施工実績の状況	令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の配置予定技術者の同種工事の施工実績：注１・注５・注６	３件以上の工事の実績あり		2.0	2.0
			１件又は２件の工事の実績あり		1.0	
			実績なし		0.0	
	⑥ 工事成績評定の状況	配置予定技術者が従事した令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の本市の工事成績評定点の最高点（本市の工事成績評定点の対象工事がない場合にあつては、令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の国又は他の地方公共団体が発注した工事の実績の有無）：注２・注５・注６	本市の工事成績評定点の対象工事ありの場合	７０点以上	3.0	3.0
				６５点以上７０点未満	2.0	
				６０点以上６５点未満	1.0	
				６０点未満	0.0	
			本市の工事成績評定点の対象工事なしの場合	国又は他の地方公共団体の発注工事の実績あり	1.0	
				国又は他の地方公共団体の発注工事の実績なし	0.0	
	⑦ 継続教育の取組状況	配置予定技術者の継続教育（ＣＰＤ）の取組：注５・注７	各団体が定める目標単位以上		1.0	1.0
			各団体が定める目標単位の２分の１以上目標単位未満		0.5	
			各団体が定める目標単位の２分の１未満又は取組なし		0.0	
	⑧ 資格の保有年数の状況	配置予定技術者が保有する１級土木施工管理技士又は１級建設機械施工管理技士の資格の保有年数：注３・注５	１０年以上		2.0	2.0
			５年以上１０年未満		1.0	
			５年未満		0.5	
			対象となる資格なし		0.0	
企業 の 地 域 貢 献 活 動 3 点	⑨ 防災協定等の有無	本市との災害時における応急対策業務等に関する協定の締結の有無及び令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の災害対応の活動実績の有無：注８、注９	協定の締結あり、活動実績あり		1.0	1.0
			協定の締結あり、活動実績なし		0.5	
			協定の締結なし、活動実績あり		0.5	
			協定の締結なし、活動実績なし		0.0	
	⑩ 地域貢献度	令和７年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の本市における公共施設の防災等予防点検、清掃活動若しくは緊急出動又は本市における防災訓練への参加若しくは自主防災訓練の実施：注１０	活動の実績あり		1.0	1.0
			活動の実績なし		0.0	
	⑪ 入札参加者の名簿の種類	代表構成員が登録されている令和８年度大牟田市競争入札参加資格者名簿の種類	令和８年度大牟田市競争参加資格者名簿（工事・準市内業者）		1.0	1.0
令和８年度大牟田市競争参加資格者名簿（工事・県内業者）			0.0			
					計	20.0

備考 評価項目ごとの加算点は、「① 施工実績の状況」から「⑩ 地域貢献度」までについては特定建設工事共同企業体の構成員ごとに評価基準及び算出方法により算出した点数を合算した点数により算出するものとし、「⑪ 代表構成員の名簿の種類」については評価基準及び代表構成員の出資比率を１００分の１００として代表構成員の点数により算出するものとする。

注１ 「同種工事の施工実績」とは、国又は地方公共団体が発注した中大口径推進工法（内径800ミリメートル以上であるものに限る。）による土木一式工事（建設省告示に規定する土木一式工事をいい、建設業法第４条の規定により土木一式工事以外の建設工事を請け負った場合における当該建設工事に附帯する土木一式工事を除く。注２において同じ。）のうち、令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間に元請で完成させ、かつ引き渡した実績（特定建設工事共同企業体の構成員としての実績にあつては、土木一式工事を施工した構成員としての実績であつて、他の構成員の出資比率を上回る構成員としての実績に限る。注２において同じ。）をいう。

注２ 「本市の工事成績評定点」とは、本市（企業局を含む。以下この注２において同じ。）が発注し、かつ、令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間に本市に引き渡した土木一式工事の実績に係る工事成績評定点をいう。

なお、本市の工事成績評定点の対象工事がない場合における令和３年４月１日から令和８年３月３１日までの期間の国又は他の地方公共団体が発注した工事の実績は、当該期間に国又は他の地方公共団体に引き渡した土木一式工事の実績をいう。

注３ 「１級土木施工管理技士」とは、建設業法第２７条の規定に基づく技術検定のうち、令和２年度以前の技術検定にあつては土木施工管理に係る１級の技術検定の合格証明書を、令和３年度以後の技術検定にあつては土木施工管理に係る１級の第２次検定の合格証明書を有する者をいい、「１級建設機械施工管理技士」とは、同条の規定に基づく技術検定のうち、令和２年度以前の技術検定にあつては建設機械施工管理に係る１級の技術検定の合格証明書を、令和３年度以後の技術検定にあつては建設機械施工管理に係る１級の第２次検定の合格証明書を有する者をいう。

注４ ＩＳＯの認証については、令和８年度大牟田市競争入札参加資格者名簿に登録されている住所の営業所等において取得しているものに限る。

注５ 「配置予定技術者」とは、入札工事に配置を予定している主任技術者又は監理技術者をいう。

注６ 「施工実績」及び「本市の工事成績評定点」の対象となるものは、現場代理人、主任技術者又は監理技術者として従事したものに限る。

注７ 「各団体」とは、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会又は公益社団法人土木学会をいう。

なお、継続教育（ＣＰＤ）の取組における単位は、各団体が定めるＣＰＤ又はＣＰＤＳに係る単位数、期間について、当該団体が発行するＣＰＤ又はＣＰＤＳの証明書であつて証明対象期間の終了日が開札日前６月間にあるものにより取得が証明されたものに限る。

注８ 「本市との災害時における応急対策業務等に関する協定」については、開札日前１月間締結中であることを証明されるものに限る。

注９ 「災害対応の活動実績」とは、大牟田市水防本部又は大牟田市災害対策本部の設置時に本市の指示により対応した有償による業務活動の実績をいう。

注１０ 「緊急出動」とは、「⑨防災協定等の有無」における有償による業務活動の実績を除くその他の災害の予防又は防止のための活動をいう。